

## (EC3) インフラメンテナンス総合委員会規則

2021年9月17日 制 定

### (目的)

**第1条** インフラメンテナンス総合委員会(以下、「委員会」という)は、土木分野のインフラメンテナンス(インフラの維持管理・更新・マネジメント)に関する情報の一元化、ならびにインフラメンテナンスに関する様々な活動を推進することを目的とする。

### (事業)

**第2条** 委員会は、第1条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 土木分野のインフラメンテナンスに関連する情報の収集、調査。
- (2) 講演会、講習会・研修会、見学会等の開催。
- (3) インフラメンテナンス分野に係る国内および国外の学協会関係機関との連絡調整。
- (4) インフラメンテナンス分野に関する刊行物の発刊の企画編集等。
- (5) その他目的達成のために必要な事項。

### (存続期間)

**第3条** 委員会の存続期間は、土木学会委員会規程第2条による。

### (構成)

**第4条** 委員会は、事業を遂行するため、幹事会を設置する。また、土木学会委員会規程第6条により、小委員会を設け、特定の事項について研究、調査等を行うことができる。

- 2 委員会は、委員長1名、副委員長若干名、委員30名程度、および委員会顧問をもって構成する。また、幹事若干名および幹事長1名をおく。
- 3 幹事会は、委員長、副委員長、幹事長、および幹事をもって構成する。幹事会は、委員会の円滑な運営を図るものとする。

### (委員長・委員等の選出方法と任期)

**第5条** 委員長は、会長が任にあたる。任期は会長在任期間とする。

- 2 副委員長は、委員長が指名し、会長が委嘱する。副委員長の任期は1期2年とし、再任を妨げない。任期途中で副委員長が交代するときは、後任副委員長の任期は前任者の任期を引き継ぐものとする。
- 3 委員は、委員長が指名し、会長が委嘱する。委員の任期は1期2年とし、再任を妨げない。任期途中で委員が交代するときは、後任委員の任期は前任者の任期を引き継ぐものとする。任期の区切りは、原則として定時総会とする。
- 4 幹事長および幹事は、委員の中から委員長が指名し、会長が委嘱する。
- 5 小委員会の委員長は、原則として委員の中から委員長が指名し、会長が委嘱する。委員以外から選出する場合には、次期改選の間まで委員の定数を増加することができる。
- 6 小委員会の委員は、小委員会の委員長の推薦により選出し、会長が委嘱する。

### (運営)

**第6条** 委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員長は、必要に応じて、文書または電子メールをもって委員の意見を徴し、委員会の開催に代えることができる。
- 3 委員会は、原則として年1回以上開催する。
- 4 幹事会は、必要に応じて随時開催する。
- 5 委員会は、土木学会委員会規程第9条の規定および理事会の決定に従い、「事業計画および予算」を作成し、部門担当理事の承認を経て会長に提出する。
- 6 委員会は、土木学会委員会規程第10条の規定および理事会の決定に従い、「事業報告書」を作成し、部門担当理事を経て会長に提出する。
- 7 委員会は、土木学会委員会規程第8条の規定に従って、毎年度、事業成果を理事会に報告するとともに、土木学会誌・土木学会ホームページ等を通じて会員等に公表する。

**(事務局)**

**第7条** 委員会の担当事務局は、総合委員会及び総括は研究事業課とし、その他、各小委員会の担当事務局は委員会の特性を勘案し、事務局内で調整して定める。

**(規則の変更)**

**第8条** この規則の変更は、委員の過半数の賛同を得た後、理事会において行う。

**附則** この規則は、2021年9月17日から施行する。